



えごた

<http://nk-egota-e.a.la9.jp>

令和2年
6月1日号
江古田小学校
児童数 430名
TEL03-3385-0411

学校の教育目標◎かんがえる子ども○やさしい子ども○たくましい子ども(◎重点目標)
目指す学校の姿「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校」

学校再開で、大切にしたいこと

校長 松井 貴子

入梅間近、衣替えの季節となりました。衣替えとは、平安時代からはじまった習慣で、当時は中国の風習にならって4月1日及び10月1日に夏服と冬服を着替えることと定め、これを「更衣」と言いました。しかし、天皇の着替えの役目をもつ女官の職名も更衣といい、後に天皇の寝所に奉仕する女官で女御に次ぐ者を指すようになったので、民間では更衣とは言わず「衣替え」と言うようになりました。さらに、明治以降の官庁・企業・学校等でも「衣替え」を定め実施してきました。現在は、クールビズ等が示され、6月1日の前後2週間程度の移行期間が設けられるなど変わってきています。

今年は新型コロナウイルス感染症対策のためマスクを着用していることが多い生活が続いています。子どもたちが熱中症等について考え、上手に衣服の調節をしたり水分補給をしたりできるように保健指導を推進していきたいと思えます。

さて、緊急事態宣言も解除され、いよいよ学校が再開されます。臨時休業の長期化により学校という居場所から離れた生活はいかがでしたか。仲間と集う場所がない不安や友達と会えない不満が高まったり、運動不足や学習の遅れへの不安を感じたりしているとの様子を伺っております。一方で、社会において自立的に生きるとはどういうことなのか、親子で考える時間となり、様々なことへの感謝が深まったとの話も耳にしました。

学校では、子どもたちの「自立」の視点を学習習慣の確立状況や生活習慣の定着状況等から主体的な学びとして学んだことが生活に生かされているのか、生きて働く力となっているのかを見直す貴重な機会となりました。そして、学校教育目標の柱である「知・徳・体」のバランスよい育成を今後の限られた時間の中で、何を最優先にし、どのように教育活動を精査して展開していくのかについて真剣に論議し知恵を出し合っており、学校再開の準備をしております。

まず、新しい学校生活では、一人ひとりの進級の自覚を高めるようにします。1年生はスタートカリキュラムを丁寧に実施します。3年生・5年生はクラス替えがありましたので、新しい仲間との学級づくりをします。2年生・4年生・6年生は、クラス替えはありませんが、担任が変わったり転校生を迎えたりした学級もあります。それぞれ新鮮な気持ちで楽しい学校生活できるように、子どもたちに寄り添い、子どもたちの話を聴くことに力を入れます。また、6月はなかよし月間です。特別活動や道徳教育を推進し、学級開きに加え、工夫した縦割り班活動や各学年の「人権コーナー」もより充実させていきます。

学習面では、学習指導要領がめざす「自己調整力」の育成を大切に指導していきます。自己調整力を発揮するには、まず知的好奇心を刺激することが必要です。授業では、児童自らが学習の目標をもち、自分の学習方法や学習過程を振り返りながら学習を進め、新たな学習につなげていけるよう教材や指導体制等も工夫していきます。そして、各学年や教科での多様な学習方法で経験していることを家庭学習等でも生かせるよう学習課題や「家庭学習の手引き」などで示し取り組んでいく予定です。御不安なことがございましたら担任や放課後補充学習の教員、特別支援教育サンサンの教員等に御相談ください。個に応じて丁寧に指導してまいります。